

平成22年度事業報告書

事業報告書目次

I 概要

II 組織

- II-1 会則・規程等
- II-2 会員および会費
- II-3 役員・顧問・職員
- II-4 会議
- II-5 大学との関係
- II-6 ボランティアスタッフ
- II-7 管理業務(特記事項)

III 事業

- III-1 運営支援事業
- III-2 財政支援事業
- III-3 生活支援事業
- III-4 広報渉外事業
- III-5 サークル・サポート事業(天久保店・事務所併設店)
- III-6 グッズ&メディア
- III-7 パーソナル・サポート事業(大学会館店・追越店)
- III-8 付随的収益事業

I 概要

大学との関係では、「財産貸付契約書」を更新した。

入会状況については、年度末時点での平成22年度の学群1年生保護者の入会率は68.03%(1611人)、大学院1年生保護者の入会率は21.13%(571人)と共に昨年よりも減少し、いずれも目標を達成することができなかった。

各事業の決算では会費収入においては、学群新入生の保護者の入会がやや低調であったことから、合計63,388千円だと前年度を下回った。事業収入の売上収入においては、UTコレクション等の売上が減少したことなどにより、41,594千円となり目標額を下回る金額となった。事業収入全体では貸付金返還収入などが予算を下回ったこともあり47,498千円で予算比10,336千円減となった。

支出では、事業費支出全体では94095千円で予算比13,985千円減となり、一般会計全体では、約4,091千円の黒字、正味財産は5,766千円の増加となった。

諸規則整備にあたり紫峰会会則、会費規程、援助金規程の一部を改正した。また、事務処理規約、就業規則、給与規程、特定勤務規則を制定し、平成23年度より施行することとなった。職員ではI種職員1名(大場勇貴)を平成23年1月より採用、II種職員1名が交替となった。

アイスクリーム問題について、北斗の会と和解書を取り交わし、和解金が振り込まれた。筑波大学新聞を紫峰会報に同封して会員に配送するサービスを開始した。嘉納治五郎生誕150周年事業への協力として、案内を紫峰会報122号に同封し会員に対して送付した。

II 組織

II-1 会則・規程等

規則名	摘要
紫峰会[筑波大学学生後援会]会則	平成 23 年 2 月 5 日実施 第5、9、10条変更
紫峰会[筑波大学学生後援会]会費規程	平成 23 年 2 月 5 日実施 第1、2条変更
紫峰会[筑波大学学生後援会]援助金規程	平成 23 年 2 月 5 日実施 第1条変更
紫峰会[筑波大学学生後援会]貸付金規程	変更無し
就業規則	平成 23 年 4 月 1 日改正 全面改正
特定勤務規則	平成 23 年 4 月 1 日改正 全面改正
給与規程	平成 23 年 4 月 1 日改正 全面改正

II-2 会員および会費

会員種別	会員数	継続数	新規入会数	退会数	加入率	会費入金額 (単位:円)
正会員 1	9,193	6,953	2,240	2,000	47.7%	62,358,840
正会員 2	358	293	65	39	*	612,000
賛助会員 (学内)	54	27	27	17	*	41,000
賛助会員 (一般)	191	149	42	33	*	367,000
賛助会員 (団体)	1	1	0	0	*	10,000
正会員 1 会員 (学生父母等)、学年別会員数内訳						
学年	学群	大学院		合計		
1 年		1,621		574		2,195
2 年		1,770		666		2,436
3 年		1,690		195		1,885
4 年		1,538		103		1,641
5 年		579		256		835
6 年		201		-		201
合計		7,399		1,794		9,193

II-3 役員・顧問・職員

役員(任期：平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)		
会 長	平野 信之	学生父母等 (医学類 5 / 体育会医学支部推薦)
副会長	江田 昌佑 斉藤 浩一	筑波学都資金財団常務理事 同窓生 (文サ連初代運営委員長)
常務理事	大森 哲郎	同窓生・紫峰会事務主幹
理 事	岡田 康治 三上 正人 田幡 直樹 高橋 和志 藤本 廣茂 飯村 省一 角海 紀雄 小林 千洋	学生父母等 (シス情博士後期 2 / 芸サ連推薦) 学生父母等 (社会学類 3 / 芸サ連推薦) 学生父母等 (人文学類 2 / 全代会推薦) 学生父母等 (情報メディア創成 3 / 文サ連推薦) 学生父母等 (社会工学類 3 / 体育会本部推薦) 筑波学都資金財団筑波研修センター所長 同窓生 (芸サ連第 3 期会長) 同窓生 (体育会初代委員長)
監 事	唐澤 俊英 高野 大二郎	学生父母等 (生物資源学類 3 / 体育会本部推薦) 筑波学都資金財団・学生宿舎管理事務所所長
顧問		
(役職指定)	西川 潔 加賀 信広 潘 亮 齋藤 慎二 岡田 実 丹藤 勝次	筑波大学副学長 (学生生活担当) 筑波大学学生担当教員室長・学生生活支援室長 筑波大学学生担当教員室員 筑波大学学生担当教員室員 筑波大学学生部長 筑波大学学生生活課長

職員等		
I 種職員	大森 哲郎 北澤 徳之 村上 公一 大場 勇貴	事務主幹、週1日勤務 週5日勤務 週5日勤務 週5日勤務（平成23年1月採用）
II 種職員	齋藤 徳夫 須藤 豊 田島 光次	経理担当、週4日×6時間勤務 広報・庶務・追越店担当、週3日×6時間勤務（平成22年7月退職） 広報・庶務・追越店担当、週5日×6時間勤務（平成22年4月採用）
パート職員	山口 秀峰 吉岡 由紀 長谷川英祐 久保田ひすい 加藤 菜摘 小倉 久美子	大学会館店担当 週5日×8時間勤務 経理・総務・担当 週5日×8時間勤務 大学会館店・追越店・UTCollection担当、週5日×8時間勤務 大学会館事務所併設店・UTCollection担当、週4日×5時間勤務 追越店担当、週3日×6時間勤務 大学会館店・UTCollection担当、週3日×6時間勤務
アルバイト	(大学会館) (追越)	週約60人・時間 週約20人・時間

II-4 会議

総会		
	会則第14条に基づき、理事会をこれに代えた。 結果報告は紫峰会報紙面において行った。	
理事会		
第65回(2010.6.12)	1. 審議事項 (1) 第64回理事会の議事録抄(案)承認の件 (2) 平成21年度事業報告書(案)承認の件 (3) 平成21年度収支決算書(案)承認の件 (4) 平成22年度紫峰会役員追加選任の件 (5) その他 2. 報告事項 (1) 平成22年度入会状況について (2) アイスクリーム問題の対応について (3) 校章使用許諾契約、財産貸付契約について (4) 第10回筑波大学・紫峰会連携協議会報告 (5) その他	
第66回(2011.2.5)	1. 審議事項 (1) 第65回理事会の議事録抄(案)承認の件 (2) 平成23年度事業計画書(案)承認の件 (3) 平成23年度収支予算書(案)承認の件 (4) 平成23年度紫峰会役員(案)承認の件 (5) 平成22年度課外活動団体援助金系別配分額(案)承認の件 (6) 紫峰会会則(案)、会費規程(案)、援助金規程(案)承認の件 (7) 筑波大学基金からの依頼について (8) その他 2. 報告事項 (1) 第11回、第12回筑波大学-紫峰会連携協議会報告 (2) 平成22年度入会状況について (3) アイスクリーム問題の経過について (4) 平成22年度収支状況について (5) 嘉納治五郎記念事業への協力について (6) その他	
学生財務会議		
構成員	文化系サークル連合会財務局長 芸術系サークル連合会財務局長 体育会財務局長 体育会医学支部財務担当 全代会学内行事専門委員会 担当職員	平成22年4月～12月 平成23年1月～3月 関根 瑞恵 高橋 大輝 橋本 崇史 安永 将太 望月 紘一郎 北澤 徳之 長 裕敏 坪山 玲加 西山 純輝 矢野 風 西澤 凌吾 北澤 徳之

毎週 1 回程度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課外活動団体援助金系別配分額案作成 ・ 特別援助金審議 ・ 課外教育行事援助金審議 ・ その他
----------	--

II-5 大学との関係

協約書等			
商標権使用許諾契約書		平成 22 年 4 月 1 日締結	
筑波大学・紫峰会連携協議会の設置等に関する覚書		平成 19 年 10 月 29 日締結、変更無し	
財産貸付契約書		平成 19 年 10 月 29 日締結、平成 22 年 4 月 1 日更新	
国立大学法人筑波大学と紫峰会（筑波大学学生後援会）における保有個人情報等の提供等に関する申合せ		平成 21 年 1 月 27 日締結、平成 22 年 2 月 14 日変更	
※筑波大学－紫峰会連携ワーキンググループ報告書		2007 年 9 月 20 日第 44 回教育研究評議会報告	
筑波大学・紫峰会連携協議会			
構成員	(大学側)	(紫峰会側)	
	西川 潔	学生担当副学長	平野 信之
	加賀 信広	学生生活支援室長	斉藤 浩一
	潘 亮	学生生活支援室員	大森 哲郎
	齋藤 慎二	学生生活支援室員	北沢 徳之
	岡田 実	学生部長	村上 公一
	丹藤 勝次	学生生活課長	大場 勇貴
	須藤 英世	総務課長補佐	
	高橋 義宏	学生生活課長補佐	
	土子 昇	学生生活課専門職員	
	大塚 秀男	学生生活課専門職員	
第 10 回(2010.6.1)	審議事項	(1) 第 9 回連携協議会議事録（案）について (2) 平成 21 年度事業報告書（案）について (3) 平成 21 年度収支決算書（案）について (4) 平成 22 年度紫峰会役員追加選任について (5) 筑波大学基金からの依頼について (6) 嘉納治五郎生誕 150 周年記念事業からの依頼について (7) 筑波大学ブランディングへの協力について (8) 筑波大学アイスクリーム問題の経過について (9) 諸規則整備について (10) 第 65 回紫峰会理事会の議題について (11) その他	
	報告事項	(1) 平成 22 年度新入生加入率について (2) 校章使用許諾契約の締結について (3) 財産貸付契約の更新について (4) 今後の課題、業務報告等	
第 11 回(2010.12.17)	審議事項	(1) 第 10 回連携協議会議事録（案）について (2) 筑波大学基金について (3) 諸規則整備について (4) 法人化研究について (5) 職員の補充について (6) その他	
	報告事項	(1) 平成 22 年度新入生加入率について (2) 校章使用許諾契約の更新について (3) 嘉納治五郎基金への協力について (4) 筑波大学アイスクリーム問題の経過について (5) 今後の課題、業務報告等	

第12回(2011.1.27)	審議事項	(1) 第11回連携協議会議事録(案)について (2) 筑波大学基金からの依頼について (3) 諸規則整備について (4) 平成23年度事業計画書(案)について (5) 平成23年度収支予算書(案)について (6) 平成23年度紫峰会役員(案)について (7) 平成22年度課外活動団体援助金系別配分額(案)について (8) 第65回紫峰会理事会の議題について (9) 入会促進について (10) その他
	報告事項	(1) 平成22年度新入生加入率について (2) 今後の課題、業務報告等
顧問意見確認事項		
各種援助金の支給	援助金申請書にて、顧問を代表し学生生活支援室の意見(確認印)	
各種貸付金の貸付け	貸付金申請書にて、顧問を代表し学生生活支援室の意見(確認印)	
大学機関主催行事等への役員等の参加		
スポーツ・デー 宿舎祭 学園祭・雙峰祭 リーダー研修会 全代会研修会	開会式、援助金目録贈呈 (監事：唐澤俊英) オープニング参加・目録贈呈 (理事：角海紀雄) 後夜祭ステージ、援助金目録贈呈 (理事：藤本廣茂) 研修参加、援助金目録贈呈 (担当職員) 研修参加、援助金目録贈呈 (担当職員)	
学生広報会議		
構成員	平成22年4月～12月 文化系サークル連合会 局長：平良 希望 局員：安藤 直貴 芸術系サークル連合会 局長：渡邊 智也 局員：鷲尾 紗由理 体育会 局長：佐藤 皓太 体育会医学支部 局長：倉橋 果南	平成23年1月～3月 松浦 悠司 栗山 真季 岡田 朋之 橋本 花梨 深山 大生 垣野内 航
(毎週1回程度)	平成22年4月 全代会学内行事専門委員会： 戸嶋 尚香 担当職員 村上 公一	平成22年5月～23年3月 水鳥 英夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・「紫峰会報」の編集・取材等打ち合わせ ・研修(カメラ操作方法・撮影・編集など) ・紫峰会報発送作業段取り ・「紫峰会ホームページ」への情報提供 ・各系広報誌収集・情報交換 など 	

II-6 ボランティアスタッフ

課外活動資料室白書編集部	
構成員	衣川 洋史 (白書編集長・システム情報工学研究科2年) 山田 拓 (人間総合科学研究科2年) 小松崎洋志 (生命環境科学研究科2年) 青木 健将 (システム情報工学研究科1年) 村松 遼太 (教育学類4年) 高須 祐輔 (生物学類4年) 猪熊 隼人 (国際総合学類3年) 村上 公一 (担当職員)
(毎週1回程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・課外活動資料・情報の収集・整理 ・課外活動白書の編集・発行
課外活動資料室広報部会	
構成員	尾池 響平 (芸サ連元広報局長・システム情報工学研究科1年) 猪熊 隼人 (文サ連元広報局長・国際総合学類3年) 岡部 俊生 (文サ連前広報局員・比較文化学類3年) 平良 希望 (文サ連元広報局長・芸術専門学群2年) 安藤 直貴 (文サ連前広報局員・地球学類2年) 村上 公一 (担当職員)

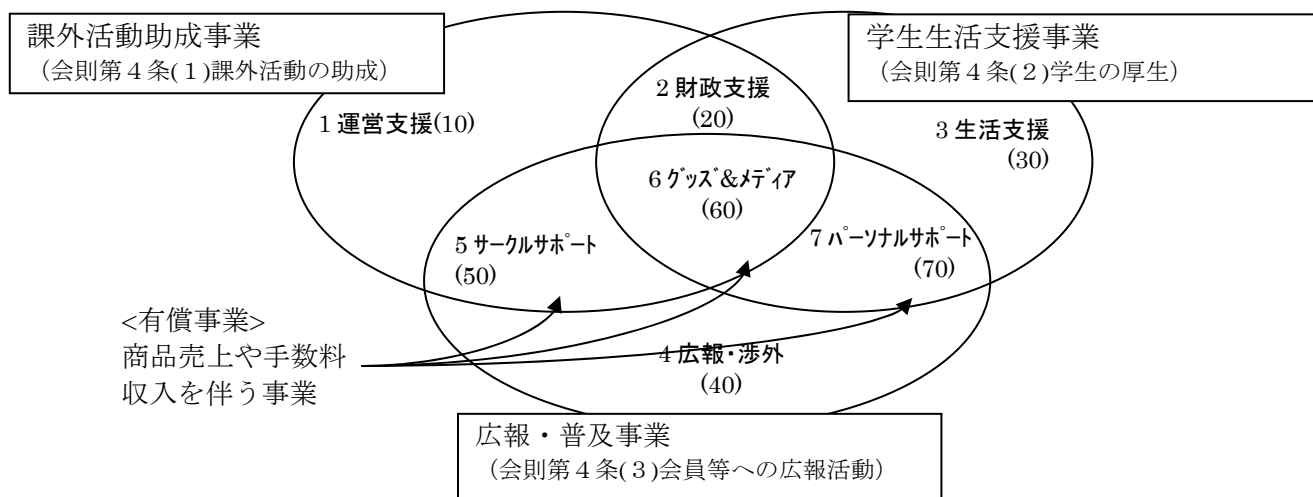
(毎週1回程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生広報会議の議題の整理 ・ 紫峰会報の編集・取材 ・ 紫峰会報編集作業のための「広報マニュアル」を作成
課外活動資料室財務部会	
構成員	稲村 拓也 (生命環境1年) 岡田龍太郎 (シス情博士後期2年) 北沢 徳之 (担当職員)
(毎週1回程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生財務会議の議題の整理 ・ 会計面接およびその準備 ・ 会計マニュアルの編集
UTコレクション企画室	
構成員	五十嵐治也 (室長・元筑波大学副学長) 三田村峻右 (元芸術学系・教授) 穂積 毅重 (芸術学系教授) 蓮見 孝 (芸術学系教授) 齋藤さだむ (元筑波大学技官・写真家) 北澤 徳之 (担当職員)
	平成22年度は開催せず。
UT Club	
構成員	上坂 元紀 (生命環境科学研究科1年) 長橋 美貴 (図書館情報専門学群4年) 伊藤 一成 (教育学類3年) 高野 牧子 (芸術専門学群3年) 北澤 徳之 (担当職員) 長谷川英祐 (担当職員)
ミーティング： 不定期	<ul style="list-style-type: none"> ・ UTcollection商品開発に関する検討 ・ 学園祭販売企画実施
販売促進	学園祭ショップ「UTshop」出店 (2010.10.9～11)
Net-Project	
構成員	周 昕 (システム情報工学研究科後期課程3年) 板谷 悠人 (システム情報工学研究科1年) 近藤 貢二 (自然学類卒業生) 村上 公一 (担当職員)
ミーティング 週1回程度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紫峰会ホームページの作成・更新 ・ 紫峰会ホームページのデザイン変更企画 ・ 課外活動団体等のサイト作成 ・ インターネットサーバーの保守・管理 ・ メールリングリストの運用 ・ 茗溪会ホームページの更新作業

II-7 その他特記事項

個人情報の取り扱いについて
<p>会員および学生からお預かりした個人データの安全管理のために、安全管理措置を講じた。</p> <p>当会において個人情報を取り扱う従事者は、法令および内部規程を遵守し、個人情報を適切に管理した。</p> <p>監査責任者を選任し、個人データの安全管理措置の評価、見直しおよび改善を行った。</p> <p>個人情報保護管理者のもと、内部規程の整備、運用および従業者の教育を行なった。</p>

III 事業

会則第4条による3つの事業分野(課外活動助成事業、学生生活支援事業、広報・普及事業)があるが、これらは重なり合う部分もあるため、下図のように7つの事業項目を設定して、業務を行った。



III-1 運営支援事業

課外活動等の関連情報を提供し、学生の団体・組織の運営の安定・充実を促すため、学生の団体・組織を対象とし、会計面接、運営相談、課外活動に関する情報収集を行った。

会計面接			
実施目的	①課外活動団体への援助金(一般援助金、遠征援助金、特別援助金)の給付に関する処理及び各団体の会計処理が適切に行われるよう点検・助言し、その運営の安定・充実を促す。 ②課外活動団体の活動状況や要望を確認し、援助金の給付をはじめとする各種支援事業の改善等に活かす。		
面接内容	・団体への援助金が団体の会計に入金されていることを確認する。 ・支給された援助金の活用状況を確認する。 ・各団体の会計処理が円滑に行われているかを確認し、必要があれば助言する。 ・各団体の活動状況や活動への支援に関する要望を把握する。 ※面接者;担当職員及び各系財務局長、対象者;各団体の責任者・会計担当者等		
実施状況		実施団体数(会計数)	実施時期
	体育会本部	55 団体(64 会計)	7・8 月 (夏休み中)
	体育会医学支部	1 団体(19 会計)	2・3 月 (前期試験・春休み中)
	文サ連	41 団体(50 会計)	2・3 月 (前期試験・春休み中)
	芸サ連	29 団体	11 月 (秋休み中)
実施の成果	・各団体の会計状況・帳簿状況等はおおむね良好であった。		
運営相談			
会計クリニック	・日常的に会計相談や援助金申請の相談窓口を設置してほしいとの要望から、会計クリニック(毎週月曜日の 18 時～19 時 30 分・予約制)を実施した。のべ約 20 団体の利用があった。(会計面接の再接面を含む)		
その他の相談			
課外活動資料室による課外活動関連情報の収集・整理・蓄積および閲覧等の対応			
白書編集部	・2004 年度、2006 年度、2009 年度課外活動白書の編集に必要な情報収集ならびに編集作業を行い、大学関連部署並びに三系等主要団体へ配布した。		
財務部会	・三系財務局長・課外活動資料室の協力により、課外活動団体会計マニュアル(追加冊子)を作成し、各団体の会計担当者に配布した。		
広報部会	・広報会議を補佐し、紫峰会報の企画、取材等を行った。 ・会報の取材・編集等を円滑に進めるため、広報マニュアルを作成した。		
資料室連絡会	・財務会議の補佐を行う同資料室財務部会、広報会議の補佐を行う同広報部会と白書編集部との連携を強化するため、それぞれの代表者と担当職員が定期的に情報交換を行う連絡会が設置された。		

III-2 財政支援事業

学生の諸活動を推進・育成する団体・組織・機関や学生個人の財政を補助し、課外活動や学生生活の発展・充実を促すことを目的として、各種助成金の給付、一時資金の貸付などを行った。

援助金配分事務					
規程等	<ul style="list-style-type: none"> ・援助金規程;平成 23 年 2 月 5 日 第1条変更 ・学生財務会議(説明資料参照)を 29 回行った。 ・援助金の支給は、振込または現金により行った。 				
課外活動団体援助金(一般援助金及び遠征援助金)の給付					
支給基準等	<ul style="list-style-type: none"> ・各系の援助金配分に関する規定;変更無し。 ・援助対象経費基準(学生財務会議専決);変更無し。 ・一般援助金系別配分額計算式;団体一律配分金(14,000)×系団体数+比例配分金 ・遠征援助金系別配分額計算式;援助対象経費×援助率(5.41%) 				
系別配分額		援助対象経費集計期間	一般援助金	遠征援助金	計
	文サ連	平成 21 年 10 月～22 年 9 月	766,025	721,455	1,487,480
	芸サ連	平成 21 年 10 月～22 年 9 月	1,170,905	1,557,403	2,728,308
	体育会	平成 21 年 10 月～22 年 9 月	3,563,070	8,221,142	11,784,212
	合計		5,500,000	10,500,000	16,000,000
※平成 22 年度課外活動団体援助金系別配分額に基づき、各系責任者会議において各団体への配分額が決定された。平成 23 年 5 月紫峰会から各団体に給付する。(団体配分額については別紙参照)					
特別援助金の給付					
支給基準等	<ul style="list-style-type: none"> ・特別援助金支給基準(学生財務会議専決);変更無し →内容別表 ・学生財務会議において審査。 ・学生団体は、三系いずれかを窓口として申請。 				
支給実績	<海外遠征S>	2 件	245,000 円		
	<海外遠征A>	該当なし 件	0 円		
	<海外遠征B>	2 件	72,500 円		
	<海外遠征C>	6 件	969,000 円		
	<後援事業>	3 件	86,300 円		
	<記念行事>	1 件	152,000 円		
	<社会貢献事業>	1 件	400,000 円		
	合計	15 件	1,924,800 円		→詳細別表
課外教育行事援助金の給付					
支給基準等	<ul style="list-style-type: none"> ・学園祭及びスポーツデーは、援助金規程第3条により援助対象とした。 ・その他の行事については、原則として所属する組織の承認・推薦を得た上で、援助金申請書・予算書・事業計画書・決算書・事業報告書・領収書・その他資料などを学生財務会議に提出して申請する。 ・学類新歓への援助金支給基準を作成した。 				
支給実績	<学園祭援助金>	全代会/学園祭実行委員会、	1,000,000 円		
	<スポーツデー援助金>	体育会/スポーツデー学生委員会、	915,589 円		
	<諸行事援助金>	11 件、	1,212,845 円		→詳細別表
組織助成金の給付					
支給基準等	<ul style="list-style-type: none"> ・学生組織(文サ連・芸サ連・体育会・全代会)執行部等が、公用でコピー・印刷等を行う場合、助成の一環として紫峰会事務所印刷室及び UTshop の機器使用料を補償する。 ・全代会構成員の名刺製作も対象とする。 				
支給実績		コピー・印刷	その他の機器使用		計
	合計				
大学の課外活動等の育成指導に関する経費の補助(育成指導補助給付)					
支給基準等	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の行う行事等で、学生後援会としてふさわしいものについて、大学の支出要請に応じて補助を行った。 ・連携協議会において、「育成指導給付」のあり方が検討され、大学主催(または共催)イベント等に関する経費で、大学の一般会計からの支出が難しいもの、その他連携協議会で必要と認められたものを給付対象とし、より透明度の高い運営を目指していくことが確認された。 				
支給実績	・学生生活支援室(防犯ポスターコンテスト)				

記念品 (UTcollection) 特別支給									
支給基準等	<ul style="list-style-type: none"> 課外活動団体が海外遠征・交流等を行う場合、相手先との記念品交換などのため、三系執行部の推薦を経て UTcollection を支給する。 								
	参加人数	20 名以内	20,000 円まで						
		21 名～40 名	40,000 円まで						
		41 名以上	60,000 円まで						
支給実績	2 件、80,000 円相当								
一時資金の貸付 (緊急貸付金、団体貸付金、課外貸付金)									
貸付基準等	<ul style="list-style-type: none"> 「貸付金規程」; 変更無し 緊急貸付金: 在学生 (生活資金等) 無利子 1 年以内 25 万円まで 課外貸付金: 課外活動団体に活動する個人 無利子 1 年以内 20 万円まで 団体貸付金: 課外活動団体 (会計) 無利子 4 年以内 60 万円まで 								
		緊急貸付金		課外貸付金		団体貸付金		合計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
	前年度から繰越	30	5,354,200	1	80,000	0	0	27	5,434,200
	本年度新規貸付	27	6,430,000	3	560,000	0		30	6,990,000
	本年度返還者 () 内は完了者	32 (25)	5,704,000	3 (1)	200,000	(0)		35 (26)	5,904,000
	年度末貸付残高	32	6,080,200	3	440,000	0		35	6,520,200
	※残高は、貸倒 (備忘額各 100 円) 2 件を含む。 ※本年度緊急貸付金新規貸付のうち、学群生 12 人、大学院生 15 人。								

III-3 生活支援事業

学生等の相談を受け、必要な情報を提供し、就職活動や学生生活の充実を促し、生活相談、生活関連情報 (アルバイト、アパート、就職活動など) の収集・提供を行った。

生活情報サービス	
紫峰会報別冊	・自動車保険や自動車所有・使用に関する情報提供を行った。
生活相談	
相談内容 (学生)	<ul style="list-style-type: none"> 緊急貸付金について; 31 件 (学群 18 人、大学院 13 人うち留学生 9 人) 出納管理の方法について 年間の資金繰りについて アルバイト先について
相談内容 (会員)	<ul style="list-style-type: none"> ※会員からの電話・E-Mail 等による学生生活関連の主な相談内容 大学からつくばセンターへの行き方を教えてほしい 子供と連絡を取りたいが、携帯電話が繋がらない。どうしたらよいか 紫峰会会員であれば、学外者であっても図書館の利用は可能か 安い宿泊施設を教えてほしい 宿舍退去に掛かる経費はどうなるのか 子供が宿舍の抽選に外れてアパートを探している。大学が契約してくれることはないのか 紫峰会に入会しないとサークルに入れないのか アパートの更新料が 2 年に 1 度かかる、というのは一般的なのか 私は社会人なので、保護者がいない。そういう場合はどうしたらよいか。 つくば市内で宿泊できる場所はあるのか 筑波大学 OB 会はあるのか 宿舍からアパートに引っ越しをする際、ガスの契約に親の同席が必要。退去日の延期が出来ないそうだが、どうしたら良いのか 子供の祖父が亡くなって帰省している。地震になったがそのまま帰省していた方が良いのか つくば市の地震の被害状況を教えてほしい 宿舍入居には親も行って良いのか 宿舍に暖房は入るのか。寒いのか。補食室の鍋は共用か。ご飯は補食室で食べるのか

III-4 広報渉外事業

会員など学生に関わりのある人々に情報を提供し、支援の輪の強化・拡大を図るため、会員または入会案内対象者（地域住民、企業等を含む）などへ紫峰会報や入会案内の発送をおこない、父母等会員の入会率の向上、団体賛助（協賛会員）・地域賛助会員・学内賛助会員の拡大を図った。

機関紙「紫峰会報」の編集・発行						
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・広報会議（Ⅱ-5参照）及び課外活動資料室広報部会（Ⅱ-6参照）の協力を得て紫峰会報の編集を行った。 ・紫峰会報を年間5回（4・7・9・12・3月）、合計約 88,000 部発行した。 ・送付対象は、会員及び入会案内対象者。 ・発送作業は、三系執行部の呼びかけにより、課外活動団体所属学生のボランティアによって行われた。 					
発送	送付時期	印刷部数	会員等送付数	学内配布数	作業協力者数(人)	
					文サ館	体サ館
	4月(会報 120号)	16,000	13,400	1,200		
	7月(会報 121号)	19,000	15,836	1,200		
	9月(会報 122号)	15,000	11,585	1,200		
	12月(会報 123号)	20,400	13,892	1,200		
	3月(会報 124号)	18,000	11,542	1,200		
入会促進						
在学生及びその保護者への案内	<ul style="list-style-type: none"> ・例年通り入会の呼びかけを行った。 ・会計面接において、紫峰会への加入の呼びかけを行った。 ・紫峰会報の作成にあわせ、未入会保護者へ入会催促を行った 					
入会案内および周知の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・入会案内は、学長、会長、副学長の挨拶文や、学生の代表等の入会依頼の文章を中心に作成し、学生への具体的な支援内容を書き添えるなどした。また、学群生、大学院生向けそれぞれの入会案内を作成した。 ・事業案内は、各業務を紫峰会3事業に分類し説明する内容にした。 ・学生宿舎の入居日に入会・相談窓口を設置。窓口対応の人数を増員した。また、窓口において、平成 22 年度学年暦カレンダー・クリアファイルを手渡し、呼びかけを行った。 ・新入生オリエンテーションにて、紫峰会の説明を行った。 ・大学院生向け入会キャンペーンとして、名刺無料サービスを行った。 					
送付状況	送付時期	送付数	送付対象（保護者宛）			
	4月(会報 120号)	2,682	学群1年次＋大学院1年次			
	7月(会報 121号)	6,782	学群全年次＋大学院1年次＋新卒者			
	9月(会報 122号)	2,373	学群1年次＋大学院1年次			
	12月(会報 123号)	4,646	学群全年次＋大学院1年次			
	3月(会報 124号)	2,279	学群1年次＋大学院1年次			
学内情報の問い合わせ先案内・照会						
問い合わせ内容	<ul style="list-style-type: none"> ※学生保護者等から、電話・E-MAIL による問い合わせに対し、学内の問合せ先窓口の照会・案内等を行った。 ・奨学金の問い合わせ先はどこか ・筑波大学の駐車場について相談したい ・授業料について、どこに聞けばよいか ・授業料免除のことはどこに聞けばよいか ・予防接種のことはどこに聞けばよいか ・学生生活課の電話番号を教えてください ・奨学金のことはどこに聞けばよいか ・カリキュラムのことはどこに聞けばよいか ・子供のことで相談できる場所はあるか ・子供の在学証明を取得するにはどうしたらよいか ・大学から子供が入院した、との電話があった。保健管理センターの電話番号を教えてください ・宿舎に住んでる子供に荷物を送ったが、そのことをどこに聞けばよいか ・子供が留年したので、手続き等相談できる場所を教えてください ・卒業生だが、筑波大学の後援をもらうにはどうしたらよいか ・保護者と子供の住所が変わったが、大学に届ける必要があるか 					

	<ul style="list-style-type: none"> ・大学新聞の合格者名簿のことについて問い合わせたい ・子供が除籍になる、との通知が大学から来た。不安だがどうしたら良いか ・介護等体験の保険について、どこで確認できるか ・授業料の支払いはいつまでか ・宿舎にエアコンを取り付けてもらえるのか ・寒いので宿舎から毛布を借りたい ・学園祭の日程を教えてください ・体育会某団体の部員のことで良くない噂を聞く。指導をしてほしい ・子供が所属するサークルから車を出してほしい、と頼まれた。免許取得して1年たっていない。大学でバスを出すことはできないのか。何かあった場合、保険や責任はどうなるか ・卒業式の日程を教えてください ・卒業式、入学式は行われるのか ・原子力発電所の放射能について、大学は避難指示等その後の対応をもっとやってもらいたい。どこに聞けば良いか ・大学から新生へ電話や手紙で連絡はあるのか ・紫峰会への相談は、何でも聞いて良いのか ・入会手続きは、お金を入金するだけで良いのか ・2年生の親だが、今から入会しても大丈夫か ・卒業生の親も入会できるか ・紫峰会への入会は強制か ・紫峰会への入会はどうしたらよいか ・兄弟がいるときの会費はいくらになるのか ・入学時に32000円払えば、永久会員になれるのか ・入会したが会員証、カレンダーが届かない ・退学した際、会費は返金されますか ・紫峰会の会費は、寄付金控除の対象になるか ・大学新聞のバックナンバーを送ってほしい ・学年暦カレンダーを送って欲しい ・学年暦カレンダーは2年目以降はもらえないのか ・学生総合補償制度に加入したい。詳しく教えてください ・学生総合補償制度を継続したいので、資料を送ってほしい ・名刺割引サービスは後期1年目も対象か ・市長選挙に出るに当たり、卒業証明が必要。紫峰会で証明できるか ・課外活動への支援は、紫峰会以外にも大学はしていないのか。その支援は現金なのか ・紫峰会で名刺を作成したのに会報が届かない ・紫峰会に入らないことのメリット、デメリットは何か。 ・学内で紫峰会報を入手することはできるか ・紫峰会と部活の関係はどういうものか。紫峰会は運動会なのか。学生生活課との関係は ・寄付したいがどうすれば良いか ・地震で会員証とカレンダーを失くしてしまった。再度送付してほしい ・紫峰会WEBでWEBセキュリティ証明書のエラーが出る。どうにかした方が良くと思う ・嘉納治五郎の寄付金の依頼を卒業生の親に送らないでほしい ・桐の華を通販で購入できるようにしてほしい
--	---

交流行事等の支援及び関係づくり

各種OB会	<ul style="list-style-type: none"> ・職員それぞれの関係するOB会等に積極的に参加し、現役学生とOBとの繋がりを深めるよう努めた。 ・茗渓会筑波大学支部総会に招待を受け、職員が参加した。
茗渓会筑波事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・茗渓会筑波事務所運営企画委員会に参加して、紫峰会の立場・活動状況について説明し、同窓会のあり方などについて意見を述べた(大森・北澤)。
MTGF	<ul style="list-style-type: none"> ・茗渓・筑波グランドフェスティバル学生事務局に対して、ミーティング・作業スペースの提供など活動環境の支援を行なった。 ・茗渓・筑波グランドフェスティバル実行委員会に参加して、その運営に協力した。

III-5 サークル・サポート事業(紫峰会大学会館事務所併設店)

学生やOB等の集団的・組織的活動における関係作りの利便性を高め、その活動の発展・充実を促すため、学生の団体・組織、OB 団体などを主な対象として、印刷サービス、事務機器供用サービス、名簿関連サービスなどを行った。

プリントサービス	
印刷サービス	<ul style="list-style-type: none"> 印刷機を設置し、サークル等のビラ作成や冊子作成の印刷サービスを行った。 利用実績;→ 508 件 403,176 枚 907,547 円
出力サービス	<ul style="list-style-type: none"> 複合機を設置し、学生団体等の書類出力等のサービスを行った。 利用実績;→ 523 件 68,257 枚 436,569 円
作業場所供用	<ul style="list-style-type: none"> 冊子(名簿や部内誌など)の原稿整理や印刷後の紙折、ホチキス留めなどの作業を行う場所を提供した。
関連用品販売	<ul style="list-style-type: none"> 宛名ラベルや封筒の販売などを行った。
OB会事務サポート	
作業代行	<ul style="list-style-type: none"> OB会の通知発送、名簿作成、ホームページ制作などの作業代行を行った。 利用団体;吹奏楽団OB会、茗溪会
発送代行	<ul style="list-style-type: none"> ゆうメールを利用してOB会機関誌等の発送代行を行った。 利用団体;体育会執行委員会、アイススケート部、サイクリング部、漕艇部、アメリカンフットボール部、硬式野球部、水泳部茗水会、体育会執行委員会、吹奏楽団、応援部 WINS、医学ヨット部の各OB会等
収納代行	<ul style="list-style-type: none"> 自動振替によるOB会費の収納代行を行った。 あわせて紫峰会の入会案内を送付した。 利用団体(実績件数);体育会執行委員会 OB 会(29 件)、医学スキー部 OB 会(59 件)、アメリカンフットボール部後援会(103 件)、医学ヨット部 OB 会(24 件)、小児科(5 件)、医学サッカー部 OB 会(1 件)
チラシ折込サービス	
チラシ折込	<ul style="list-style-type: none"> 本会の団体賛助会員を対象として、紫峰会報配送の際、DMチラシを同封するサービスを行った。 利用件数;2件(紫峰会報 120,124 号)
店舗運営	
	<ul style="list-style-type: none"> 主に前各号のサービスを提供するため、紫峰会大学会館事務所併設店舗を運営した。 営業時間;平日午前 10 時～午後 7 時、土曜午前 10 時～午後 6 時、日曜・祭日休業。

III-6 グッズ&メディア サポート

大学や学生生活に係る情報やグッズなどの流通・高品質化を図り、大学への帰属満足度や連帯意識を高めるため、以下の事業を行った。

UTcollection	
商品開発	<ul style="list-style-type: none"> 開発にあたっては、現役学生や UT コレクション企画室などの学内の協力を得て検討を重ねながら進めた。また、芸術学系や産学連携本部などの学内組織との連携を図ると共に、地元業者と連携したもののづくりの方向性も模索した。 商品の増産にあたっては、細かな仕様変更を行うなどして顧客満足度を向上させるよう留意した。 結城紬の活性化を目的としたプロジェクト「UTProject」に共催者として取り組み、「端切れを使用した日用品コンテスト」を行ったり、UTshop 店頭で紬商品をテスト販売するなど、地元特産品の商品化に向けて研究を開始した。 嘉納治五郎生誕 150 周年事業の関連グッズを検討・商品化した。また、大学ブランディングスローガン「IMAGINE THE FUTURE.」の関連グッズについて、UTshop で販売できるよう検討した。
販売開始商品	スポーツ T シャツ(サイズ追加)／ルーズリーフバインダー／嘉納治五郎記念 T シャツ／スウェットパンツ／結城紬ペンケース／つくば時刻表 2010 春夏号・秋冬号／証書ホルダー／嘉納治五郎記念湯呑／平成 23 年度学年暦カレンダー・手帳／IMAGINE THE FUTURE.クリアファイル
販売概況	<ul style="list-style-type: none"> 2009 年秋以降に安全確認をとった食品類の販売を入学式等イベント時に順次再開させ、好評を得た。 学園祭時に大学会館が工事中であったことや、来福酒造による「桐の華」の出張販売日数の減少、また年度末繁忙期における東日本大震災発生などの要因から、収入額は昨年より減少した。 「日経 HR」など学内外メディアからの取材に積極的に応じた。 売上高; 23,623,693 円(桐の華手数料収入含む。)
通信販売	<ul style="list-style-type: none"> 紫峰会報にチラシ・注文書を同封(9,000 部×5回)[会員価格販売] 茗溪会の協力により、季刊誌「茗溪」にチラシ・注文書を同封(23,000 部×1回)[定価販売] 紫峰会 WEB サイト[会員価格または定価販売] 売上高; 2,596,350 円(カタログ通販¥1,659,490、onLine 通販¥ 936,860)
学内受注	<ul style="list-style-type: none"> 紫峰会報配布時にチラシと注文用紙も配布し、教職員から校費により受注した[定価販売]。 学内各部署や学生団体の各種イベント時に記念品などの相談を受け、受注した[定価販売]。 売上高; 3,916,130 円
Ushop 店頭販売	<ul style="list-style-type: none"> 通常販売;UTshop 大学会館店・追越店での対面販売[会員価格または定価販売] 2011 年 1 月よりバーコードレジシステムを導入 特設販売; 祝入学セール(追越店・大学会館店にて 4/4-10)、大学説明会セール(大学会館店にて 7/27-29)、学園祭 UTshop(大学会館店にて 10/9-11)、卒業式セールは大学会館店にて計画するも中止) [会員価格または定価販売] 売上高;9,083,866 円(大学会館通常営業¥5,597,485、大学会館特販¥2,559,371 追越店:¥927,010)
卸・委託販売(学内)	<ul style="list-style-type: none"> 厚生会書籍部(大学会館・各地区書籍部 6 店舗)、大学附属病院売店 売上高; 3,855,575 円
卸・委託販売(学外)	<ul style="list-style-type: none"> つくばエキスポセンター、つくば美術館、つくば駅、谷田部東 PA(上り)の売店。 2011 年 3 月より谷田部東 PA 上り売店(運営:株式会社ジェイファルク)での販売開始 学外13店の書店(「つくば時刻表」)。 売上高; 2,690,804 円
桐の華手数料(店頭・通販)	<ul style="list-style-type: none"> 来福酒造の出張販売および通信販売に関する手数料 手数料および広告料合計:359,570 円
その他収入	<ul style="list-style-type: none"> 記念品特別支給(助成金支出)、会務使用、北斗の会からの返戻金など 合計:1,121,398 円
UTservice	
概要	<ul style="list-style-type: none"> UTCollection の制作ノウハウを活かして、クラブ・サークル・学類などからの受託制作を行った。
実績	<ul style="list-style-type: none"> 受注件数;77 件(売上高;8,852,762 円)国際総合学類紹介誌、体育会「紫峰」34号、医学専門学群卒業試験問題集、スポーツデーメダル・ポスター等
UTlife	事業休止中

III-7 パーソナル・サポート事業(UTshop大学会館店・追越店)

学生の学習・生活環境の利便性を高め、大学生活の安心・充実を図るため、コピー・出力・FAX・名刺・製本などのサービス、グッズ販売、損害保険取次サービスなどを行った。

DTP関連サービス		
コピーサービス	<ul style="list-style-type: none"> ○モノクロコピー(用紙共通) ・プリペイド方式 700円/100枚(7円/枚) 2000円/300枚(6.66円/枚) 5000円/800枚(6.25円/枚) ・現金方式 大学会館店:10円/枚 追越店:8円/枚 ・利用実績;→ 471件 	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーコピー 全サイズ 30円/枚 全サイズ 30円/枚 ・追越店 B4・A3:90円/枚 A4・B5:50円/枚 全サイズ 30円/枚
		85,206枚 571,554円
出力サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・追越店においてカラーレーザープリンタ・カラーイメージスキャナー・パソコン2台及びソフトウェアの提供により、出力等サービスを行った。大判インクジェットプリンタによる出力サービスを実施した。 ・レーザープリンタ1枚単価 [・カラー]B4・A3:90円 A4・B5:50円 A3ノビ:100円 [同・モノクロ] A3まで:10円 A3ノビ:20円 全サイズ カラー30円 モノクロ10円 ・大判インクジェットプリンタ1枚単価 [カラー・コート紙]A2まで:1,200円 A1まで:1,800円 [カラー・普通紙]A2まで:900円 A1まで:1,200円 [モノクロ・普通紙]A2まで:400円 A1まで:500円 ・利用実績;→ 531件 8,682枚 439,930円 	
FAXサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・FAX 送受信(国内):10円/枚 送信(海外):実費通話料 ・利用実績;→ 174件 10,488円 	
ラミネートサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ラミネート B4・A3:100円/枚 A4・B5:50円/枚 ・利用実績;→ 299件 2,166枚 112,100円 	
場所供用	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー・DTP関連作業のための作業空間の提供を行った。 	
関連商品等販売	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の販売を行った。 ・販売実績; 26件 販売実績; 26件 	
外注サービス		
名刺製作	<ul style="list-style-type: none"> ・筑波大学公式ロゴタイプ名刺作成の受付・制作を行った。 ・利用実績;→ 791件 2,512,160円(大学院生入会特典分含む) 	
論文製本	<ul style="list-style-type: none"> ・追越店にて論文製本(ハードカバー・ソフトカバー)の受付・制作を行なった。 2011年1月より取引製本業者を増やし、新しいサービス体系を整えた。 ・利用実績;→ 23件 580,333円 	
花束販売	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式向けの、花束の予約販売を行ったが、卒業式中止のため全額返金を行った。 ・申込件数;→ 12件 155,500円 	
ソフトウェア取次	<ul style="list-style-type: none"> ・学習や研究で使用するソフトウェアを「指定校ライセンスプログラム」にて販売する窓口を紹介。 ・利用実績;→ 122件 600,529円(当会手数料収入) 	
学生証用ICカード販売	<ul style="list-style-type: none"> ・学生生活課の依頼により、学生証再発行手続きの際のICカード販売を行った。 ・利用実績;→ 741件 741,000円 	
店舗運営		
UTshop大学会館店	<ul style="list-style-type: none"> ・主に前各号のサービスを提供するため、パート職員が常駐し店舗運営に当たった。(営業時間は午前10時00分～午後5時、日祭日休業) ・立地条件から、学会等での会館利用者、見学者、留学生等の利用が目立った。 ・のべ利用実績(入学式等特販除く);→ 7,097件 8,966,360円 	
UTshop追越店	<ul style="list-style-type: none"> ・主に前各号のサービスを提供するため、パート職員またはII種職員が常駐し店舗運営に当たった。(営業時間は午前10時00分～午後8時、土日祭日休業) ・立地条件から、医学生・附属病院教職員・追越在住大学院生の利用が目立った。 ・パソコンからのカラー出力サービスを行っているため、芸術の学生やサークル関係の利用者も確認できた。 ・のべ利用実績;→1,826件 2,829,220円 	
学生総合補償制度およびその他の損害保険の取次		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学生総合補償制度加入人数は603名で、保険料総額は12,393,470円であった。 ・保険金支払いは55件で支払金額は約292万円。クラブ活動中のけがによるものが多かった。 ・学園祭・宿舍祭などイベント時の保険の取次ぎを行った。 ・学生総合補償制度の引受代理店の協力を得て学生の自動車保険相談と取次ぎを行った。 ・平成23年度入学者を対象としたパンフレットを作成、入会者へ郵送した。 	

III-8 付随的収益事業 特になし。